

平成25年度北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：上川地区
- 2 事例報告学校名：上富良野町立上富良野西小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 佐々木 雅 宏
- 4 キーワード：学力向上



1 はじめに

本校は、昭和42年に町内の小規模校2校と上富良野小学校の校区の一部を統合して開校しました。その後も、小規模校3校が本校と統合になり現在に至っています。校区は広範囲に広がるため、全校児童の約4分の1が、地域住民との混乗バスとタクシーを利用して登下校しています。現在の学校規模は、普通学級6・特別支援学級4からなる10学級で、全校児童数は141名となっています。

また、本校の校区は大部分が上富良野町十勝岳防災対策計画の泥流被害における緊急避難区域に指定されています。保護者は自衛官や会社員が多く、学校教育への関心が高く協力的で、PTA活動にも熱心です。児童は明るく素直で、基本的な生活習慣や挨拶などは定着しつつあります。学力の面では、教職員の熱心な取組とともに、家庭学習をはじめとする望ましい生活習慣づくりに、各家庭の協力を得ることで毎年着実に成果を上げています。

今年度の重点教育目標である「自分の考えをもち、ねばり強くやり通す子どもの育成」を目指し、全職員が一丸となって進めている実践の中から、学力向上を目指した取組の一端を紹介いたします。

2 本校における学力の向上を目指した取組

(1) 授業以外の学習時間を日課表に設定

右の日課表に示したように、始業前の時間を活用して国語・算数の学習と読書を実施しています。また、月曜日と火曜日の放課後に「西小タイム」を設定し、全ての教師が児童の指導に当たっています。この時、各学級に教師が2名入る形をとり、個々の児童の習熟の程度に応じて適切な指導を行うようにしています。

時 間	月	火	水	木	金
8:00	児童自校到着等				
8:10	国語	算数	全校集会	掃除	うがい
8:20	朝の会				
8:30	第1校時				
9:15	トイレ・移動				
9:20	第2校時				
10:05	休	休	休	休	休
10:25	第3校時				
11:10	トイレ・移動				
11:15	第4校時				
12:00	給食				
12:45	縦 割 清 掃				
13:00	休 休 休				
13:20	第5校時				
14:05	第6校時				
14:50	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
15:00	西小タイム	西小タイム	放課後	放課後	放課後
下校時刻	15:30 (水曜日は14:30)				

(2) 算数の授業でTT方式及び習熟度別少人数指導を実施

本校では、指導方法工夫改善加配1名を受け、算数の授業でTT方式の授業とともに、右の「習熟度別指導重点単元表」に基づき、習熟度別少人数指導を実施しています。

習熟度別少人数指導を行うときは、2教室に別れて授業を行っています。コースの選択は、個々の児童が自分の理解の程度に応じて自主的に行いますが、事前に行うレディネステストの結果などを元に教師側から児童にアドバイスを与える場合もあります。

それぞれのコースの児童数は10名前後になるため、児童は恵まれた環境の中で学習に集中することができます。

年 級	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1年		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3年				3	3	3	3	3	3	3	3	3
4年					4	4	4	4	4	4	4	4
5年						5	5	5	5	5	5	5
6年							6	6	6	6	6	6

(3) 全国学力・学習状況調査の結果分析と活用

全国学力・学習状況調査の終了後、速やかに自校採点と結果の分析・活用をしています。また、調査結果の個人単票は保護者との面談時にも活用し、家庭学習の内容等について保護者に対して個別にアドバイスを行うなど、学校と家庭の双方で分析結果を活用しています。

習熟度別指導重点単元表

(4) 家庭学習の積極的な支援

学力の向上のためには家庭学習の習慣化が重要と考えます。そこで、本校では保護者を巻き込んで家庭学習の質と量の改善を目指した取組を進めています。

その1つ目として、『家庭学習のすすめ』を作成し、児童及び保護者に各学年で取り組む家庭学習の内容や時間の目安を知らせています。その上で、各担任は宿題を毎日出し、児童は取り組んだ家庭学習の結果をノートやプリントで翌日担任に提出するようにしています。

2つ目として、家庭学習の習慣化と内容の改善を目指し、「家庭学習チャレンジ週間」を実施しています。これは、児童が1週間にわたって、右のチェックシートに毎日の家庭学習の時間や内容に加え睡眠時間等を記録するものです。結果は学級ごとに集計・分析し、家庭学習や生活習慣に関わる指導に生かしています。



(5) 授業の質の向上を目指した校内研修

本校ではすべての教師が視点を設定した研究授業を行い、参観者が気付いた点を用紙に記入し、授業者に渡す取組を行っています。また、4月当初の校内研修において「学習規律の徹底」についての確認があり、全学級共通の『学習のやくそく』を教室に掲示するほか、ノートの取り方では学習課題とまとめを赤線で囲むなど、授業の受け方について全学級で足並みをそろえた指導を行っています。



家庭学習チェックシート

(6) 道外視察の実施とその成果の還元

本年度から上富良野町教育研究大会において当番校が公開授業を行うことになり、初年度は本校が当番校になりました。また、上富良野町では学力の向上を目指し、当番校に研修視察費を配当することになりました。また、道教委から募集のあった「平成25年度校内・地域教職員研修促進費に係る地域連携研修」に計画書を提出したところ、本校がその主体校に割り当たりました。そこで、この2つの予算を活用し、秋田県の先進校への道外視察を実施しました。

そして、この視察結果は教育研究大会の折に、町内の全小中学校教員の前で報告されました。詳細は右の学校通信からの抜粋をご覧ください。

学力の向上を目指した取組

校長 佐々木 雅 宏

全国学力・学習状況調査については、たびたび報道でも取り上げられるので、みなさん御存じのことだと思います。この調査は平成19年度から始まったもので、小学校では6年生で国語と算数の調査を行います。また、平成24年度には理科も実施されました。理科は3年に1回程度実施されるようです。本年度実施した調査の結果は、既に別の文書でお知らせしましたが、西小3子の学力は毎年着実に育ってきています。

さて、先月の学校通信で「上富良野町教育研究大会」のことをお知らせしましたが、その中の「道外視察」についてもう少し詳しくお知らせします。この道外視察では秋田県の先進校を4校訪問し、学力向上を目指した取組を中心に視察しました。その成果を上富良野町に持ち帰り、町内の小中学校の実践に生かすことが視察の目的です。本校から菊池・幸坂・中西の3名と上富良野小学校から1名の計4名が視察に参加しました。訪問先は大仙市の高梨小学校と横堀小学校、由利本荘市の西目小学校と由利小学校でした。視察参加者からは、以下の点が各学校に共通して見られた取組として報告されました。

- ① 学習規律、ノートづくり、発表の仕方などを、学校全体で統一した取組として推進(学級・学年が違っても同じ取組を行っている)
- ② 授業スタイル・教師の発問・板書の仕方など教師の力量向上、全学級の複数指導体制(チーム・ティーチング及び習熟度別少人数指導)
- ③ 朝学習、読書タイム、全校漢字・計算テスト、家庭学習の徹底など学習時間の確保や学習成果の確認

「当たり前前のごとを当たり前前しっかりとやっているよね」というのが今回の視察団4名共通の感想でした。また、「教師としてのプロ意識を高くもち、授業力の向上をひたむきに追求することが、いかに大切であるか」ということを、改めて実感したことが報告の最後に述べられました。

①～③の取組と本校における取組を比較すると、ほとんどが共通する内容となっています。今後は視察の成果を生かしながら着実に改善を進めていこうと考えています。その一つ目として、各教室に掲示していた「学習のやくそく」の内容を見直し、改訂したものを各教室に掲示しました。

最後に、保護者の皆様へのお願いですが、由利本荘市教育委員会が作成し、保護者向けに配付している家庭学習の手引きでは、「親の関心が学力を伸ばします!」や「わが子に対する教育的な動きかけをチェック!」などの、教育を学校任せにしないという強いメッセージが込められています。子どもたちを育てるためには家庭と学校が車の両輪関係を保ち、同じ方向に向かっていくことが何より大切です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

高梨小学校「学習のまきり」

3 終わりに

本校では、以上の取組を全教職員が真摯な姿勢で積極的に進める中で、児童の学力は着実に育っています。また、それと同時に教師力の向上も感じられます。

学力の向上について、保護者を巻き込みながら、学校と保護者の連携を重視した取組を推進したいと考えています。